

消防だより



久米島消防
☎985-3281

防災の日

防災の日とは、「政府、地方公共団体等関係諸機関をはじめ、広く国民が台風高潮、津波、地震等の災害について認識を深め、これに対処する心構えを準備する」こととし、毎年9月1日を中心として「防災思想の普及、功労者の表彰、防災訓練等これにふさわしい行事」が各地で実施されます。



9月4日久米島町防災訓練が実施されました。この訓練は、大地震・大津波を想定し多くの町民が地震・津波から命を守ることが出来るよう避難訓練の実施、防災資機材の取扱訓練、消火器取扱訓練等が行われ多くの町民の皆さんが参加されました。近年、地震や台風等の発生が多くいつ私たちの身に降りかかるか分かりません。いま防災について改めて考え、一人ひとりが出来ることを家族で話し合い日頃から自然災害に備え、万全な準備をしておきましょう。

住宅用火災警報器の義務化について！

① なぜ「住宅用火災警報器」が必要なのか？

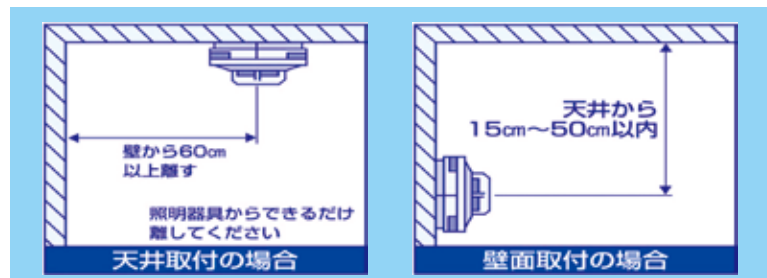
- ・火災の発生に気づくのが遅れ、「逃げ遅れ」によって多くの方が亡くなっています。
- ・火災の発生時間は、22時から翌朝6時までの就寝時間帯に多く発生しています。
- ・9割が住宅火災で亡くなっています。
- ・6割が65歳以上の高齢者です。

② 住宅用火災警報器の種類は？

- 煙式**：煙が住宅用火災警報器に入ると音や音声で知らせます。
- 熱式**：住宅用火災警報器の周囲温度が一定の温度に達すると音や温度で知らせます。

③ どこに取り付けるのか？

住宅用火災警報器は原則として、寝室と寝室がある階段には、必ず設置しなければなりません。取り付け方法も定められていますのでイラストを参考にしてください。



※火災の早期発見と『逃げ遅れ』を防ぐために

住宅用火災警報器を設置しましょう。

※火事・救急・救助は119番へお願いします。

○消防法及び市町村条例(平成23年6月施行)により、すべての住宅に火災警報器が義務づけられました。

8月出動状況()は、平成28年累計

●救急…38件(282件)	●風水害…0件(0件)
●火災…0件(3件)	●捜索…0件(3件)
●救助…0件(5件)	●その他…4件(14件)
合計 42件(307件)	

島ぐらしコンシェルジュ WELCOME HOME

★島コンたいむす★

輝く！島人インタビュー

第3回 株式会社沖縄長寿苑
代表取締役 日高 悠平さん

移住定住相談窓口の「島ぐらしコンシェルジュ」が、輝く島人に島のことを色々教えてもらいます！

今回のインタビューは古谷です！



儀間出身。(株)沖縄長寿苑代表取締役・(株)未来ステーション代表取締役、スイーツ久米島(株)取締役・宅地建物取引士。大学の4年間と不動産勤務の3年間を本島で過ごす。島に戻ってからは父親の食品加工事業を引き継がれると共に、ご自身でも障害者の方向けの就労支援事業(株)未来ステーションを立ち上げたそうです。



Q.Uターンで感じた「島ならではの」エピソードは？

大学の企業実習で役場の環境保全課に受け入れていただいたとき、ハブを捕ったり、草刈りをしたりして、これは島ならではのなと思いました。その後島に帰ってきたら、今度は祭りのクジの景品にヤギがいたことも結構衝撃でした。

Q.今、島で取り組んでいることは？

久米島は今、人が減っていったるじゃないですか。みんなそれぞれ島のために動いているんだけど、「点」で動いている。これをつないで「面」で動けないかなと。三年くらい前から食品加工の仕事をしていますが、当時は規格外で農家さんが処理に困っていたゴーヤを父親がもったいないと買い取って、ワタをとって乾燥させて大きな企業に出した。でも職員だけで加工していたら間に合わず、地域の人や久米島の社会福祉協議会が運営していた障害者支援施設の曙作業所(現・地域活動支援センター「さくら」)に「お願いします！」と振ったんです。そうしたらきれいに、大量にやってくれて。今まで自分たちの中でだけでやって、処理できなかったものが、役割分担・分業したらうまく回った。それをきっかけに福祉課や社協に協力してもらって、独自の法人として障害者の就労支援を立ち上げました。一次産業のもの、規格外の物、副産物などを生産者から買い取って、就労支援のメンバーで一次加工して、付加価値をつけて出すという取り組みです。

障害者の方たちや、おじいおばあに加工してもらえば、加工する方も農家さんも助かるし、お互いないと困るみたいな関係を目指しています。支援とついでに、逆に支援されてるという感覚です。

Q.これからやりたいこと

島の資源を無駄なく活用できる仕組みをつくっていききたい。例えば島内に一斉に呼びかけて、収穫の時だけ、この季節だけ、という仕事に時間のある人に来てもらったり、売れ残ったお弁当やまだ使える粗大ごみとか段ボールや新聞紙など、呼びかけて必要な人に活用してもらえる仕組みがあるといいと考えています。「なるべく捨てるものがないように」というのは意識してやっています。軌道にのるまでには時間がかかるけど、という感じです。あとは、若手に自分の創業時の経験を伝えたりして、育成に貢献していきたいですね。

Q.悠平さんにとって久米島はどんな島ですか？

「資源の豊富な島」ですね。資源の内訳が大事なんです。普通「人・物・カネ」でしょう。でも久米島は「人・物・時間」なんです。時間はたっぷりある、Time is Money(時は金なり)です。時間はお金に換えることが出来る。この島の資源を活用して「面」で動けば、みんなが総活躍できる可能性のある島ですね。

ありがとうございました！

もっと詳しく読みたい、他の方のインタビューも読みたい方は [Q久米島 島ぐらしガイド](#) で検索

島コンニュース!

移住定住推進計画策定のための第2回部会会議と行政若手職員ワークショップを開催しました！

8月29日に移住定住推進計画策定のための第2回会議を開催し、「町民・区長・島コンが共同で課題解決に向けて活動していくこと」「町が必要としている移住者」について協議しました。

9月7日には、将来行政の中心となっていく若手職員のワークショップを開催し、「久米島で暮らしてよかったこと」「島の20年後の姿」について意見を交わしました。会議の詳細はHPでご報告していますのでご覧ください。

※お問合せ※

企画財政課 島ぐらしコンシェルジュ

HP: <http://www.shimagurashi.net> 「久米島 島ぐらしガイド」で検索
Tel:985-7122 FAX:985-7080



少しずつ掲載情報も増えています！
求人・住宅情報登録のリクエストも受付中です！